

AssetFinder

アセットファインダー

管理者マニュアル

目次

1. はじめに	3
1-1. AssetFinder でできること.....	3
1-2. 動作環境.....	4
1-3. 基本システム構成.....	5
1-4. AssetFinder の用語説明.....	6
1-5. 運用開始までの手順.....	7
2. インストール / アンインストール	8
2-1. 標準的なインストール.....	8
2-2. 2 台構成でのインストール.....	9
2-3. AssetFinder の環境チェック.....	11
2-4. アンインストール.....	12
3. 基本操作	13
3-1. AssetFinder をインストールしている PC からのログイン.....	13
3-2. AssetFinder をインストールしていない PC からのログイン.....	14
3-3. 利用者の新規登録.....	15
3-4. 利用者のインポート.....	16
3-5. 利用者の編集.....	17
3-6. 利用者の削除.....	18
3-7. 利用者の閲覧・検索.....	18
3-8. 利用者のエクスポート.....	19
3-9. 利用者の一括削除.....	19
3-10. 利用者の一括更新.....	20
3-11. 社内コンピュータの新規登録.....	21
3-12. 社内コンピュータのインポート.....	22
3-13. SV ライセンスの登録.....	23
3-14. 利用者ログの閲覧・検索.....	24
3-15. 利用者ログの内容.....	25
3-16. オフライン状態での利用履歴.....	26
3-17. 未使用者状況検索.....	26
3-18. TMUSB パターンファイル更新状況.....	27
3-19. グループ種別名の設定.....	28
3-20. 管理者情報の変更.....	29
4. データのバックアップ / リストア	30
4-1. データバックアップ.....	30
4-2. データリストア.....	31
5. 利用者ログの削除	32

6. Traventy 3 の初期化.....	33
7. ユーザサポート.....	34

1. はじめに

1-1. AssetFinder でできること

AssetFinder は、Traventy 3 専用の資産管理ソフトウェアです。Traventy 3 と AssetFinder を併用することで、Traventy 3 の利用履歴の把握や棚卸し、遠隔操作による Traventy 3 の利用禁止設定等を行うことができます。

Traventy 3 が利用されると、利用履歴がネットワーク経由で AssetFinder へ送信されます。管理者はブラウザで AssetFinder へログインすることにより、Traventy 3 の管理を行うことができます。

また、オプションの SV 機能（別売）をご利用いただくことにより、Traventy 3 内のファイル操作履歴を取得できます。

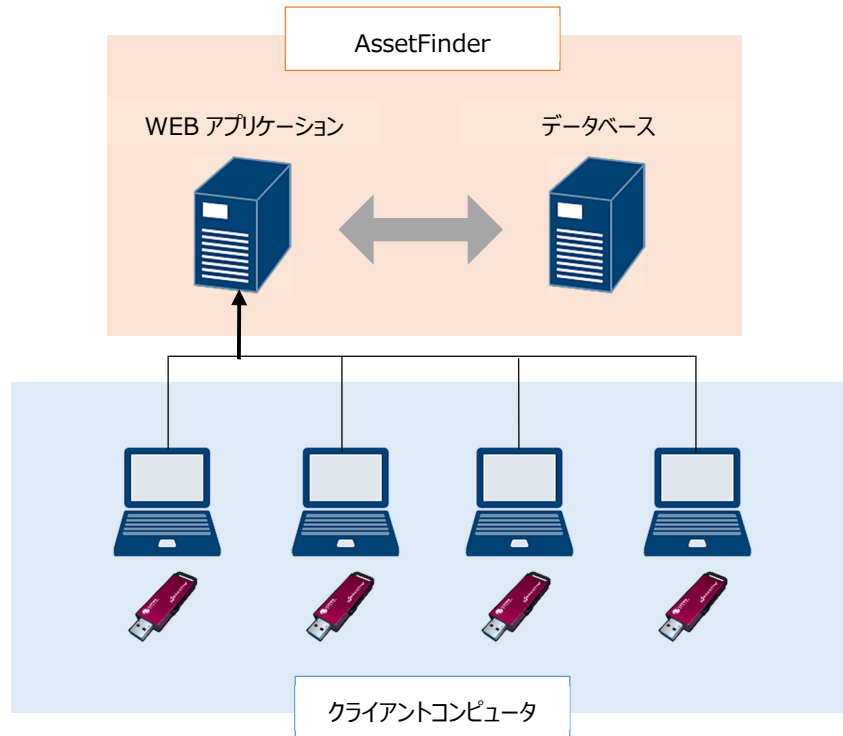
1-2. 動作環境

OS	<p>Windows Server 2022 Essentials / Standard / Datacenter (64bit)</p> <p>Windows Server 2019 Essentials / Standard / Datacenter (64bit)</p> <p>Windows Server 2016 Essentials / Standard / Datacenter (64bit)</p> <p>Windows Server 2012 R2 Essentials / Standard / Datacenter (64bit)</p> <p>Windows Server 2012 Essentials / Standard / Datacenter (64bit)</p> <p>Windows Server 2008 R2 Standard / Enterprise / Datacenter (SP1) (64bit)</p> <p>Windows Server 2008 Standard / Enterprise / Datacenter (SP2) (64bit / 32bit)</p> <p>※いずれの OS も日本語版のみに対応</p>
CPU	<p>1GHz 以上の Intel Xeon / Pentium / Celeron ファミリ</p> <p>AMD Athlon / Opteron ファミリまたは互換性のあるプロセッサ</p> <p>※OS の最低動作要件を満たすこと</p>
メモリ	<p>512MB 以上</p> <p>※OS の最低動作要件を満たすこと</p>
ハードディスク	<p>200MB 以上 (フルインストール時)</p> <p>※上記はインストールに必要なディスク容量になります。</p> <p>ログの保存には上記以上のディスク容量が必要です。目安としては、1 操作ログでおおよそ 1～2Kbyte の容量が必要です。</p>
ネットワークアダプタ	<p>必須</p> <p>※1 つ以上の固定 IP アドレスが必要</p>
推奨ブラウザ	<p>Microsoft Edge (最新版)</p> <p>Google Chrome (最新版)</p> <p>※ご利用の画面サイズにより一部レイアウトが正しく表示されない場合があります。</p> <p>※各ブラウザの拡張機能についてはサポートされません。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「バックアップ設定ツール」「ログ削除ツール」の操作は管理者権限が必要 ・ Microsoft Visual C++ 2013 Runtime(x86)がインストールされていること ・ Microsoft Visual C++ 2017 Runtime(x86)がインストールされていること ・ .NET Framework 3.5 がインストールされていること

※動作環境に記載されている OS の種類やハードディスク容量などは、OS のサポート終了や弊社の製品改良などにより、予告なく変更となる場合があります。

1-3. 基本システム構成

AssetFinder を使用するために必要なシステムは以下の通りです。
(WEB アプリケーションとデータベースを同一サーバ上で実行することも可能です。)



AssetFinder

Traventy 3 の利用履歴を管理するためのサーバアプリケーションです。
AssetFinder は、WEB アプリケーションとデータベースを 2 台構成または 1 台構成でインストールすることができます。

Traventy 3

AssetFinder に対応しているセキュリティ USB メモリです。後述の Traventy 3 ポリシー設定ツールで「資産管理機能」を有効にすることにより、AssetFinder での管理が行なえます。

Traventy 3 ポリシー設定ツール

パスワードポリシーや取得する利用履歴内容等、Traventy 3 のポリシーを設定するツールです。

初期化ツール

Traventy 3 ポリシー設定ツールにて設定したポリシーを Traventy 3 に反映するツールです。
Traventy 3 ポリシー設定ツールより生成されます。

SV ライセンス

SV 機能（別売）を有効にするためのライセンスファイルです。SV 機能を有効にすることにより、Traventy 3 へのファイル保存等、詳細なファイル操作ログを取得できます。

1-4. AssetFinder の用語説明

管理者 ID	<p>管理者が AssetFinder へログインするための ID です。</p> <p>AssetFinder のインストール時に設定します。</p> <p>管理者 ID を忘れた場合、復元できませんのでご注意ください。</p>
管理者パスワード	<p>管理者が AssetFinder へログインするためのパスワードです。</p> <p>AssetFinder のインストール時に設定します。</p> <p>管理者パスワードを忘れた場合、復元できませんのでご注意ください。</p>
DB 管理者パスワード	<p>データベースに設定するパスワードです。</p> <p>AssetFinder のインストール時に設定します。</p> <p>AssetFinder では操作中にこのパスワードの入力を求められることはありませんが、データリスト時に必要となります。</p> <p>パスワードは復元・変更はできませんのでご注意ください。</p>
企業 ID	<p>Traventy 3 上で利用履歴送信先 AssetFinder を特定するために必要な情報です。</p> <p>AssetFinder のインストール時に設定します。設定後の変更はできません。</p> <p>利用者が Traventy 3 を初めて利用する際に入力を求められますので、利用者への通知が必要となります。</p>
グループ名	<p>AssetFinder 上で利用者を特定するための情報です。</p> <p>AssetFinder の[設定]→[グループ種別名設定]で設定できます。</p> <p>各利用者のグループは、AssetFinder の[利用者管理]→[利用者一覧]で設定できます。</p>
個人識別情報	<p>AssetFinder 上で利用者を特定するための情報です。</p> <p>Traventy 3 と 1 対 1 で対応します。同一 AssetFinder 内で重複することはできません。</p> <p>AssetFinder の[利用者管理]→[利用者一覧]で設定できます。設定後の変更はできません。</p> <p>初めて Traventy 3 を利用する際に入力を求められますので、利用者への通知が必要です。</p>
USB 個別 ID	<p>AssetFinder 上で Traventy 3 を特定するための情報です。</p> <p>個人識別情報と 1 対 1 で対応します。同一 AssetFinder 内で重複することはできません。</p> <p>AssetFinder の[利用者管理]→[利用者一覧]で設定できます。設定後の変更はできません。</p>
USB シリアル No	<p>AssetFinder 上で Traventy 3 を特定するための情報です。</p> <p>Traventy 3 内部に保持されたユニークな USB シリアル番号を使用します。筐体に刻印された外部シリアルで代用することが可能です。</p> <p>利用者が Traventy 3 を初めて利用する際に設定します。</p>
社内コンピュータ	<p>利用ログ一覧表示時に、Traventy 3 の利用場所を社内と判定するための情報です。</p> <p>AssetFinder の[設定]→[社内コンピュータ管理]で設定できます。</p>
SV 機能	<p>Traventy 3 で行ったファイル操作のログ（SV ログといいます）を取得する機能です。</p> <p>本機能を有効にするためにはライセンスファイルが必要となります。</p>

1-5. 運用開始までの手順

AssetFinder の運用開始までの手順です。

管理者 と表示されている項目は管理者にて行う操作です。

利用者 と表示されている項目は利用者にて行う操作です。

- 管理者** AssetFinder 専用機となるサーバに AssetFinder をインストールします。インストール手順は P.8～P.11 をご参照ください。
- 管理者** AssetFinder インストール時に設定した管理者 ID/パスワードで AssetFinder へログインします。ログイン方法は P.13～P.14 をご参照ください。
- 管理者** SV 機能を有効にするためのライセンスファイルを登録します。SV 機能を使用しない場合は本作業を行う必要はありません。登録手順は P.23 をご参照ください。
- 管理者** Traveny 3 と利用者に関連付けるために、利用者登録を行います。登録手順は P.15～P.16 をご参照ください。

メモ

* グループ種別名は[グループ種別名設定]から変更可能です。変更方法は P.28 をご参照ください。

- 管理者** Traveny 3 の利用者に対して、Traveny 3 本体と使用開始時の初期登録に必要な情報を配布します。

管理者から利用者に配布が必要な情報	企業 ID 個人識別情報
その他、初期登録時に入力が必要な情報	USB シリアルナンバー (ソフトウェアにて自動取得するため手入力は不要です)

- 利用者** Traveny 3 を起動し、管理者から配布された情報を入力し Traveny 3 の初期登録を行います。

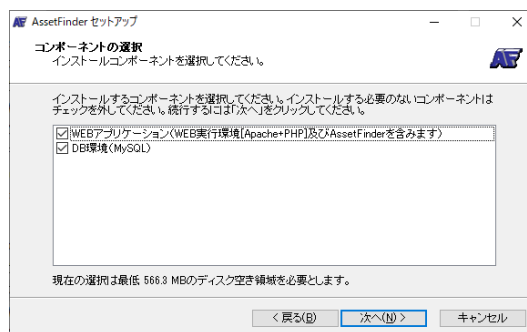
2. インストール / アンインストール

2-1. 標準的なインストール

WEB アプリケーションとデータベースを 1 つのサーバにインストールする場合の手順です。

1. インストーラ「AFM_inst_xxxxx.exe」(xxxxx にはバージョン番号)を実行します。

2. コンポーネントの選択で「WEB アプリケーション」と「DB 環境」の両方をチェックし[次へ]をクリックします。



3. インストーラに従い、「DB 管理者パスワード」「企業 ID」「管理者 ID」「管理者パスワード」を設定し、[インストール]をクリックしインストールを開始します。

設定可能な文字種、文字数は以下のとおりです。

設定項目	文字種	文字数
DB 管理者パスワード	半角英数、-(ハイフン)、_(アンダーバー)	4 文字以上
企業 ID	半角英数、-(ハイフン)、_(アンダーバー)	1～8 文字以内
管理者 ID	半角英数、-(ハイフン)、_(アンダーバー)	1～8 文字以内
管理者パスワード	半角英数、-(ハイフン)、_(アンダーバー)	4～16 文字以内

注意

- * 一度設定した企業 ID の変更はできません。
- * 管理者 ID、パスワードの復元はできません。
- * 一度設定した DB 管理者パスワードの復元、変更はできません。
- * AssetFinder は 80/TCP、443/TCP、3306/TCP を使用します。必要に応じてファイアウォール等にて通信設定を行ってください。

2-2. 2 台構成でのインストール

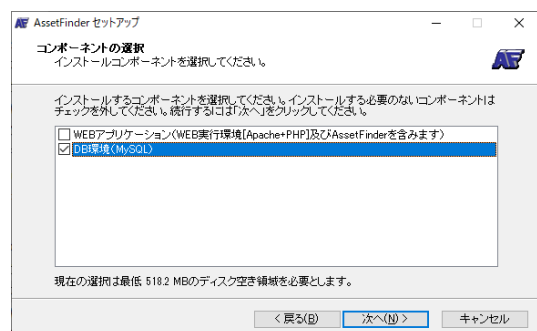
WEB アプリケーションとデータベースを別々のサーバにインストールする場合の手順です。

注意 * 2 台構成で運用した場合、WEB サーバと DB サーバ間のトラフィックによっては動作が重くなる場合があります。

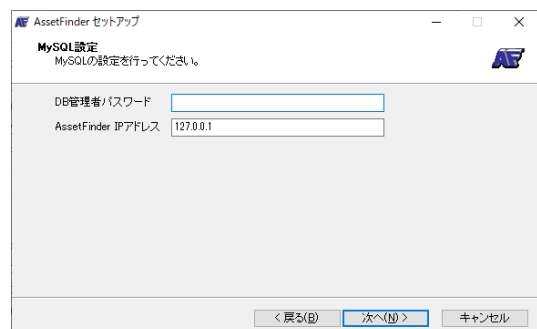
データベースのインストール

1. インストーラ「AFM_inst_xxxxx.exe」(xxxxx にはバージョン番号)を実行します。

2. コンポーネントの選択で「DB 環境」をチェックし[次へ]をクリックします。



3. 「DB 管理者パスワード」「AssetFinder IP アドレス」を入力します。「AssetFinder IP アドレス」は、WEB アプリケーションをインストールするサーバの IP アドレスを入力します。



4. 「企業 ID」「管理者 ID」「管理者パスワード」を設定し、[インストール]をクリックしインストールを開始します。

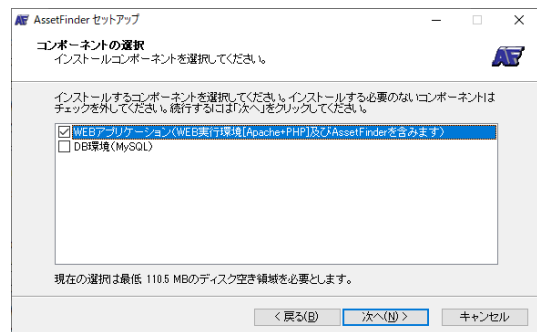
設定可能な文字種、文字数は以下のとおりです。

設定項目	文字種	文字数
DB 管理者パスワード	半角英数、-(ハイフン)、_(アンダーバー)	4 文字以上
企業 ID	半角英数、-(ハイフン)、_(アンダーバー)	1~8 文字以内
管理者 ID	半角英数、-(ハイフン)、_(アンダーバー)	1~8 文字以内
管理者パスワード	半角英数、-(ハイフン)、_(アンダーバー)	4~16 文字以内

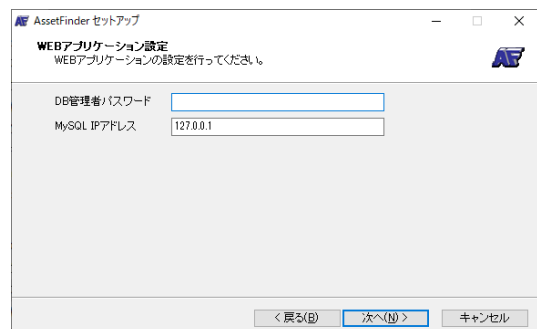
WEB アプリケーションのインストール

1. インストーラ「AFM_inst_xxxxx.exe」(xxxxx にはバージョン番号)を実行します。

2. コンポーネントの選択で「WEB アプリケーション」をクリックし[次へ]をクリックします。



3. DB 環境インストール時に設定した「DB 管理者パスワード」「MySQL IP アドレス」を入力します。「MySQL IP アドレス」は、DB 環境をインストールした PC の IP アドレスを入力してください。



4. [インストール]をクリックしインストールを開始します。

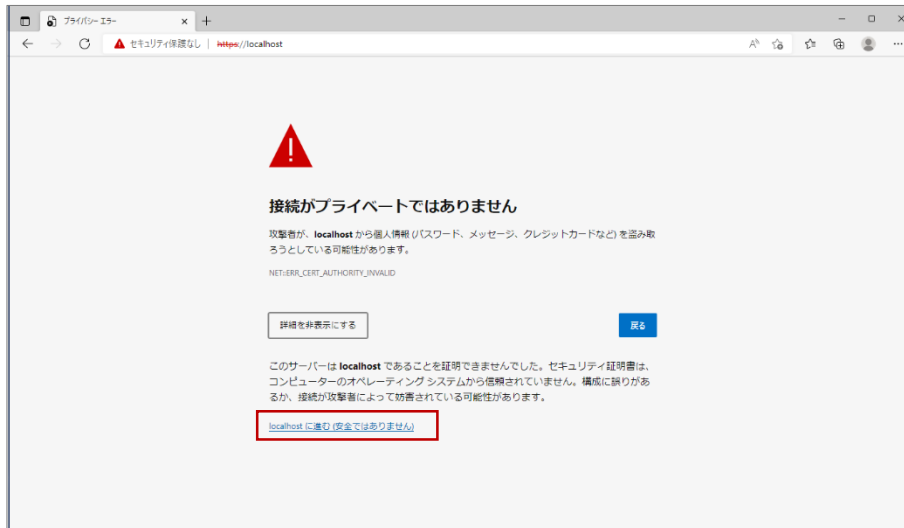
注意

- * 一度設定した企業 ID の変更はできません。
- * 管理者 ID、パスワードの復元はできません。
- * 一度設定した DB 管理者パスワードの復元、変更はできません。
- * AssetFinder は 80/TCP、443/TCP、3306/TCP を使用します。必要に応じてファイアウォール等にて通信設定を行ってください。

2-3. AssetFinder の環境チェック

AssetFinder のインストール完了後、WEB アプリケーションからデータベースへ正常に接続できるかチェックを行います。

1. [スタート]→[ED-CONTRIVE]→[環境チェック]をクリックします。
2. 暗号化通信を行う際の証明書に関するセキュリティの警告メッセージが表示されますので、[詳細設定]→[localhost に進む](Edge の場合)をクリックします。



「企業 ID」「管理者 ID」「管理者パスワード」欄に「DB に接続できなかった為、取得できません。」というメッセージが表示された場合には、以下のような原因によってデータベースと接続ができていません。必要に応じて設定の見直し、AssetFinder の再インストールを行ってください。

- IP アドレスが間違っている
- ネットワーク接続がされていない
- DB 管理者パスワードが間違っている
- データベースがインストールされていない
- ファイアウォールでのフィルタリング

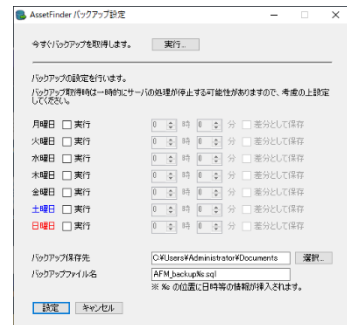
2-4. アンインストール

1. [スタート]→[ED-CONTRIVE]→[アンインストール]をクリックします。
2. AssetFinder アンインストールのメッセージが表示されますので、メッセージに従いアンインストールを行ってください。

メモ

<データを保存する場合>

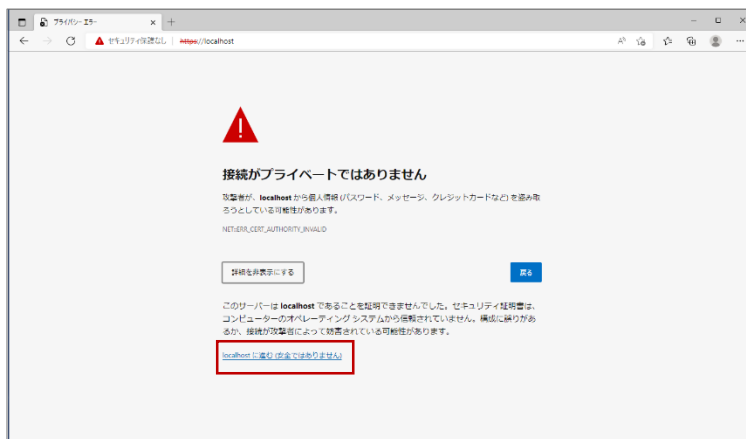
- * アンインストールを行う前にデータベースのバックアップを行ってください。バックアップについては P.30 をご参照ください。
- * バックアップデータを利用するためには、アンインストール前と同じ企業 ID、パスワードを設定する必要があります。バックアップデータの利用(リストア)方法については P.31 をご参照ください。



3. 基本操作

3-1. AssetFinder をインストールしている PC からのログイン

1. [スタート]→[ED-CONTRIVE]→[AssetFinder]をクリックします。
2. 暗号化通信を行う際の証明書に関するセキュリティの警告メッセージが表示されますので、[詳細設定]→[localhostに進む](Edge の場合)をクリックします。



3. ログイン画面が表示されますので、管理者 ID とパスワードを入力し AssetFinder へログインします。

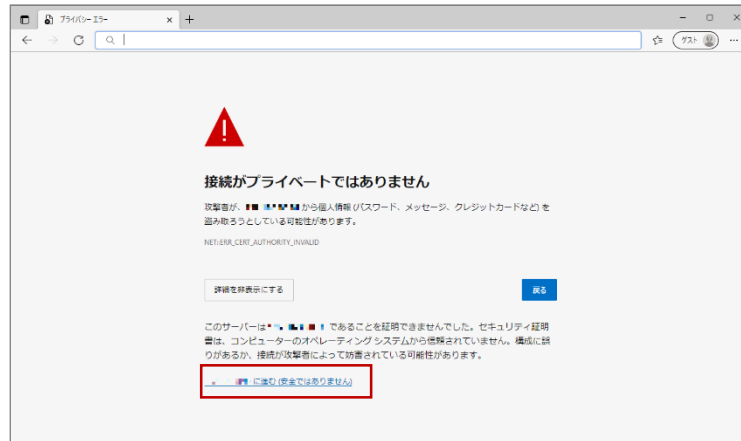


4. トップ画面が表示されます。



3-2. AssetFinder をインストールしていない PC からのログイン

1. ブラウザを起動し、「https://AssetFinder の IP アドレス」へアクセスします。
2. 暗号化通信を行う際の証明書に関するセキュリティの警告メッセージが表示されますので、[詳細設定]→[XXX に進む](Edge の場合)をクリックします。



3. ログイン画面が表示されますので、管理者 ID とパスワードを入力し AssetFinder へログインします。



4. トップ画面が表示されます。



3-3. 利用者の新規登録

1. [利用者管理]→[利用者一覧]を選択し、画面右上の[利用者新規登録]をクリックします。

2. 利用者新規登録画面より、必要情報を入力し[入力確認]をクリックします。

設定項目	文字種
有効性	対象となる Traveny 3 の有効性に関する設定です。 有効：使用可能状態にします 無効：使用禁止状態にします
SV 機能	対象となる Traveny 3 の SV 機能の使用有無を設定です。 有効：SV 機能を使用します 無効：SV 機能を使用しません
グループ 1~3	対象となる利用者のグループ（所属部署など）を 40 文字以内で設定します。
個人識別情報	Traveny 3 と対になる利用者を特定するための情報です。利用者が Traveny 3 の初回利用時に必要となる情報ですので、利用者への通知が必要です。 個人識別情報は 24 文字以内で設定します。また一度設定すると変更できませんのでご注意ください。
USB 個別 ID	個人識別情報と対になる Traveny 3 を特定するための情報です。 半角英数、-（ハイフン）、_（アンダーバー）で、10 文字以内で設定します。また一度設定すると変更できませんのでご注意ください。

3. 確認画面が表示されるので、問題が無ければ[確認]をクリックし利用者登録を行います。

3-4. 利用者のインポート

1. [利用者管理]→[利用者データインポート]を選択します。
2. 利用者データを CSV 形式で一括インポートします。[参照]ボタンをクリックし対象 CSV ファイルを指定した後、[入力確認]をクリックします。

注意

- * インポートした情報は登録済みの利用者情報に追加されますので、既存利用者と同じ USB 個別 ID、個人識別情報が存在するデータはインポートできません。
- * インポートファイルは CSV(S-JIS)形式で指定する必要があります。

インポートする CSV ファイルは、グループ 1、グループ 2、グループ 3、USB 個別 ID、個人識別情報、有効性、SV 機能の有効性の 7 項目をカンマ区切りで作成してください。

メモ

- * 1 行目はヘッダ行として無視されます。
- * 無効は 0、有効は 1 で指定してください。

3-5. 利用者の編集

1. [利用者管理]→[利用者一覧]を選択し、対象の利用者の[編集]をクリックします。

No.	登録日	グループ1	個人識別情報	USB個別ID	USB シリアルNo.	有効 無効	SV 機能	操作	削除
		グループ2							
1	2019/02/05	入院病棟担当	OKDTSYDUD	USBIOU	未登録	×	○	編集	□
		メディカルクラーク担当							
		ケアマネージメント担当							

2. 利用者情報編集画面が表示されますので、編集を行い[入力確認]をクリックします。

注 意

* グループ 1～3 は 40 文字以内で設定してください。

3. 確認画面にて編集内容に問題がないことを確認し、[確定]をクリックします。

メ モ

* グループ種別名は、[設定]→[グループ種別名設定]から変更可能です。変更方法は P.28 をご参照ください。

3-6. 利用者の削除

1. [利用者管理]→[利用者一覧]をクリックし、対象利用者の[削除]をチェックします。

No.	登録日	グループ1	個人識別情報	USB個別ID	USB シリアルNo.	有効 無効	SV 機能	操作	削除
		グループ2							
1	2019/02/05	入院病棟担当	OKDTSYDUD	USBIOU	未登録	×	○	編集	<input type="checkbox"/>
		メディカルクラーク担当							
		ケアマネージメント担当							

2. 画面右下にある[チェックした利用者を削除]をクリックします。

3. 確認画面が表示されるので、問題がなければ[確定]をクリックし利用者を削除します。

3-7. 利用者の閲覧・検索

[利用者管理]→[利用者一覧]を選択し、「検索条件」「ソート条件」を設定し[上の条件で検索]をクリックします。

AssetFinder
トップページ ログアウト

ログ管理
利用者管理
設定

利用者一覧 (SVライセンス状況: 7/200 SVライセンス有効期限: 2022/02/28 23:59:59) 利用者新規登録

検索条件

第1条件 検索項目を選択 部分一致 OR

第2条件 検索項目を選択 部分一致 OR

第3条件 検索項目を選択 部分一致

登録日 - 年 - 月 - 日 ~ - 年 - 月 - 日

ソート条件

第1条件 ソート項目を選択 昇順

第2条件 ソート項目を選択 昇順

第3条件 ソート項目を選択 昇順

30件ずつ表示

上の条件で検索

2件中 1~2件表示

No.	登録日	グループ1 グループ2 グループ3	個人識別情報	USB個別ID	USB シリアルNo.	有効 無効	SV 機能	操作	削除
1	2019/02/05	入院病棟担当	OKDTSYDUD	USBIOU	未登録	×	○	編集	<input type="checkbox"/>
		メディカルクラーク担当							
		ケアマネージメント担当							
2	2019/02/05	医療事務部	OKDBEYU	USBDER	未登録	○	×	編集	<input type="checkbox"/>
		医事担当							
		人事担当							

3-8. 利用者のエクスポート

[利用者管理]→[利用者データエクスポート]を選択し、[ダウンロード]をクリックし利用者データの一覧をCSV形式で出力します。



3-9. 利用者の一括削除

1. [利用者管理]→[利用者データ一括削除]をクリックします。
2. 削除対象の利用者が記載された CSV ファイルを指定し、[入力確認]をクリックします。



注意

* ファイルはCSV(S-JIS)形式で指定する必要があります。

CSV ファイルは、USB 個別 ID、個人識別情報の 2 項目をカンマ区切りで作成してください。

メモ

* 1 行目はヘッダ行として無視されます。

3-10. 利用者の一括更新

1. [利用者管理]→[利用者データ一括変更]をクリックします。
2. 更新対象の利用者が記載された CSV ファイルを指定し、[入力確認]をクリックします。

The screenshot shows the 'AssetFinder' web application interface. At the top, there is a navigation bar with 'ログ管理', '利用者管理', and '設定' tabs. The '利用者管理' tab is active. Below the navigation bar, the page title is '利用者データ一括更新'. There is a link for 'インポートCSVの説明'. Below this, there is a text prompt: 'アップデートファイル(CSV)を指定し、「入力確認」ボタンを押してください'. A file selection area contains a text box labeled 'アップデートファイル' and a '参照...' button. Below the file selection area is an '入力確認' button. At the bottom of the page, there is a copyright notice: '© ED-CONTRIVE Co.,Ltd. All rights reserved.'

注意

- * ファイルは CSV(S-JIS)形式で指定する必要があります。
- * 読み込んだ CSV ファイル内の「USB 個別 ID」「個人識別情報」に合致した利用者の、「グループ 1」「グループ 2」「グループ 3」「有効性」「SV 機能の有効性」を更新します。「USB 個別 ID」「個人識別情報」を更新することはできません。

CSV ファイルは、グループ 1、グループ 2、グループ 3、USB 個別 ID、個人識別情報、有効性、SV 機能の有効性の 7 項目をカンマ区切りで作成してください。

メモ

- * 1 行目はヘッダ行として無視されます。
- * 無効は 0、有効は 1 で指定してください。

3-11. 社内コンピュータの新規登録

1. [設定]→[社内コンピュータ管理]を選択し、[個別登録]をクリックします。
2. 社内コンピュータとして登録する PC のローカル IP およびコンピュータ名を入力し、[入力確認]をクリックします。

The screenshot shows the 'AssetFinder' web application interface. At the top, there is a navigation bar with 'ログ管理', '利用者管理', and '設定' (selected). Below this, the page title is '社内コンピュータ新規登録'. A message reads: '必要項目を入力後、「入力確認」ボタンを押してください'. There are two input fields: 'IPアドレス [必須]' and 'コンピュータ名 [必須]'. Below the fields are two buttons: '戻る' and '入力確認'. At the bottom, there is a copyright notice: '© ED-CONTRIVE Co.,Ltd. All rights reserved.'

3. 確認画面が表示されるので、問題がなければ[確定]をクリックし登録します。

注意

* コンピュータ名は大文字・小文字を区別しますのでご注意ください。

3-12. 社内コンピュータのインポート

1. [設定]→[社内コンピュータ管理]を選択し、右上の[一括登録]をクリックします。
2. 社内コンピュータを CSV 形式で一括インポートします。[参照]ボタンをクリックし、対象 CSV ファイルを指定した後、[入力確認]をクリックします。

注意

- * インポートした情報は登録済みの社内コンピュータ情報に追加されますので、既存社内コンピュータと同じ存在するデータはインポートできません。
- * インポートファイルは CSV(S-JIS)形式で指定する必要があります。
- * コンピュータ名は大文字・小文字を区別しますのでご注意ください。

インポートする CSV ファイルは、IP アドレス、コンピュータ名の 2 項目をカンマ区切りで作成してください。

メモ

- * 1 行目はヘッダ行として無視されます。

3-13. SV ライセンスの登録

1. [設定]→[ライセンスファイル読み込み]をクリックします。
2. [参照]をクリックし、ライセンスファイルを指定した後[確定]をクリックします。

The screenshot shows the 'AssetFinder' web application interface. At the top, there is a dark blue header with the 'AssetFinder' logo on the left and 'トップページ' and 'ログアウト' buttons on the right. Below the header is a navigation bar with three tabs: 'ログ管理', '利用者管理', and '設定'. The '設定' tab is selected. The main content area is titled 'ライセンスファイル読み込み' and contains the instruction 'ライセンスファイルを指定し、「入力確認」ボタンを押してください'. There is a form with a text input field labeled 'ライセンスファイル' and a '参照...' button to its right. Below the form is an '入力確認' button. At the bottom of the page, there is a copyright notice: '© ED-CONTRIVE Co.,Ltd. All rights reserved.'

- メ * SV ライセンスは有償となります。
- モ * SV 機能をご利用されない場合本操作は不要です。

3-14. 利用者ログの閲覧・検索

1. [ログ管理]→[利用者ログ一覧]をクリックします。
2. 検索条件を入力し、[上の条件で検索]をクリックします。

AssetFinder

ログ管理 利用者管理 設定

利用者ログ一覧

検索条件

第1条件 検索項目を選択 部分一致 OR

第2条件 検索項目を選択 部分一致 OR

第3条件 検索項目を選択 部分一致

利用日時 年-月-日 時-分-秒

操作内容 操作内容を選択

利用場所 利用場所を選択

SVログを対象とする

ソート条件

第1条件 ソート項目を選択 昇順

第2条件 ソート項目を選択 昇順

第3条件 ソート項目を選択 昇順

30件ずつ表示

上の条件で検索

検索結果をCSV出力

1,437,791件中 1~30件表示

No.	日時	個人識別情報	USB個別ID	USBシリアルNo.		
1	2019/02/06 11:22:05	user	USB-001	07000708656E3B993505		
		操作対象	操作内容	スキャンの実施		
		クライアント情報	グローバルIP	xxx.xxx.xxx.xxx		
			ローカルIP	xxx.xxx.xxx.xxx		
			MACアドレス	xx-xx-xx-xx-xx-xx		
			コンピュータ名	Computer1		
			ログインユーザー名	User		
2	2019/02/06 11:21:51	user	USB-001	07000708656E3B993505		
		操作対象	操作内容	パスワード認証成功		
		クライアント情報	グローバルIP	xxx.xxx.xxx.xxx		
			ローカルIP	xxx.xxx.xxx.xxx		
			MACアドレス	xx-xx-xx-xx-xx-xx		
			コンピュータ名	Computer1		
			ログインユーザー名	User		

表示方法の変更

一度に表示するログの件数を 30 件、50 件、100 件に変更できます。

条件による検索

検索、ソート条件を設定し[上の条件で検索]をクリックすると、条件に従いログが表示されます。

CSV 出力

[検索結果を CSV 出力]をクリックすると、表示されている検索結果を CSV 形式で出力できます。

* 操作ログの表示色により、Traventy 3 が使用された場所の社内/社外判定ができます。

メモ

社内利用 ログのローカル IP、コンピュータ名が社内コンピュータ情報と一致した場合

社外利用 ログのローカル IP、コンピュータ名が社内コンピュータ情報と一致しない場合

不明 社内コンピュータ情報が 1 台も登録されていない場合

3-15. 利用者ログの内容

AssetFinder にて取得されるログは以下の通りです。Traventy 3 ポリシー設定ツールにて取得対象外とした項目は"- "と表示されます。

利用履歴の種類		内容
日時		操作を実施した日時
個人識別情報		—
USB 個別 ID		—
USB シリアル No.		Traventy 3 の内部シリアル番号
グローバル IP		ログ送信元のグローバル IP アドレス ※1
ローカル IP		操作を実施したパソコンの IP アドレス ※2
MAC アドレス		操作を実施したパソコンの MAC アドレス ※2
コンピュータ名		操作を実施したパソコンのコンピュータ名
ログインユーザー名		操作を実施したパソコンのユーザー名
操作内容	認証プログラムの実行	パスワード認証用プログラムの起動
	パスワード認証成功	パスワード認証成功
	パスワード認証失敗	パスワード認証失敗
	無効化設定によるロック	利用者無効化時の操作によるロック
	無効化設定による初期化	利用者無効化時の操作によるデータの強制削除完了
	設定期限内未使用によるロック	棚卸し期間内に使用しなかったことによるロック
	Autorun.inf 自動削除	Traventy 3 利用開始時の Autorun.inf ファイル自動削除
	Autorun.inf 自動削除失敗	Traventy 3 利用開始時の Autorun.inf ファイル自動削除失敗
	アクティベーションの完了	TMUSB 2.1 のアクティベーション完了
	パターンファイルの更新	TMUSB 2.1 のパターンファイル更新完了
	スキャンの実施	TMUSB 2.1 による USB メモリのスキャン
	ウイルスの検知	TMUSB 2.1 によるウイルスの検知
	ファイル/フォルダコピー	ファイルまたはフォルダのコピー ※3
	ファイル/フォルダ移動	ファイルまたはフォルダの移動 ※3
	ファイル/フォルダ作成	ファイルまたはフォルダの作成 ※3
	ファイル名/フォルダ名変更	ファイルまたはフォルダ名の変更 ※3
	ファイル/フォルダ削除	ファイルまたはフォルダの削除 ※3
	ファイル実行	実行ファイルの実行 ※3
CD/DVD への書き込み	Windows 標準機能を利用した CD/DVD への書き込み ※3	
SV ログ取得開始失敗	SV ログ取得開始処理失敗 ※3	

※1 グローバル IP アドレスは、AssetFinder からみたログの送信元アドレスが記録されます。

※2 AssetFinder と通信できない環境や操作した PC でアドレスが取得できない場合は、"- (ハイフン)"で表示されます。

※3 SV 機能により取得できるログです。操作内容によって表示される詳細ログの項目が変わります。

3-16. オフライン状態での利用履歴

AssetFinderと通信できない環境で Travenity 3 を使用した場合、その間の利用履歴は Travenity 3 内に格納されます。格納されたログは、次回 AssetFinder と通信が可能になった際に送信されます。

AssetFinderと通信できない環境での Travenity 3 の使用可否については、Travenity 3 ポリシー設定ツールにて設定可能です。

なお、長時間 AssetFinder と通信できない環境で使用を続けた場合など、Travenity 3 へ格納できるログの最大量を超えた場合は、自動的に古いログから上書きされますのでご注意ください。

3-17. 未使用者状況検索

指定した期間に使用されていない（パスワード認証に成功して Travenity 3 が使用できる状態になっていない）Travenity 3 / 利用者を検索することができます。

1. [ログ管理]→[未使用者状況検索]をクリックします。
2. 検索条件を入力し、[上の条件で検索]をクリックします。

The screenshot shows the AssetFinder web interface. At the top, there are navigation tabs for 'ログ管理', '利用者管理', and '設定'. The main content area is titled '未使用者状況検索'. It contains a search criteria section with a date range selector (year, month, day, hour, minute, second) and a '上の条件で検索' button. To the right, there are sorting options for three items. Below the search area, there is a '30件ずつ表示' dropdown and a '上の条件で検索' button. The results section shows '0件中 0~0件表示' and a table with the following columns: No., 最終利用日時, グループ1, グループ2, グループ3, 個人識別情報, USB個別ID, USBシリアルNo., 有効無効, and SV機能. The table is currently empty. At the bottom, there is a copyright notice: '© ED-CONTRIVE Co.,Ltd. All rights reserved.'

メモ

* 検索条件を指定しなかった場合、開始日は各項目の一番小さな数字、終了日は各項目の一番大きな数字として検索されます。

例えば下記条件で検索した場合は、2018年4月1日0:00:00～2019年12月31日23:59:59を条件として検索します。

2018年 4月 -日 -時 -分 -秒 ～ 2019年 -月 -日 -時 -分 -秒

3-18. TMUSB パターンファイル更新状況

指定した期間中に行われた TMUSB の最終パターンファイルアップデート状況を検索できます。

1. [ログ管理]→[TMUSB パターンファイル更新状況]をクリックします。
2. 検索条件を入力し、[上の条件で検索]をクリックします。

The screenshot shows the 'AssetFinder' web application interface. At the top, there are navigation tabs for 'ログ管理' (Log Management), '利用者管理' (User Management), and '設定' (Settings). The main content area is titled 'TMUSBパターンファイル更新状況' (TMUSB Pattern File Update Status). It features a search criteria section with date and time pickers, a sorting section with three rows of sort criteria, and a table header with columns: 'No.', '最終更新日時' (Last Update Time), '個人識別情報' (Personal Identification Information), 'USB個別ID' (USB Individual ID), 'USBシリアルNo.' (USB Serial No.), and 'パターンバージョン' (Pattern Version). The table currently shows 0 items.

メモ

* 検索条件を指定しなかった場合、開始日は各項目の一番小さな数字、終了日は各項目の一番大きな数字として検索されます。

例えば下記条件で検索した場合は、2018年4月1日0:00:00～2019年12月31日23:59:59を条件として検索します。

2018年4月 -日 -時 -分 -秒 ～ 2019年 -月 -日 -時 -分 -秒

3-19. グループ種別名の設定

1. [設定]→[グループ種別名設定]を選択し、グループ名称を入力した後[入力確認]をクリックします。

AssetFinder

トップページ ログアウト

ログ管理 利用者管理 設定

グループ種別名設定

変更する場合は、フォームの内容を書き換えた後、「入力確認」ボタンを押してください

グループ1名称 [必須]	拠点 ※1~40文字
グループ2名称 [必須]	部門 ※1~40文字
グループ3名称 [必須]	用途 ※1~40文字

入力確認

© ED-CONTRIVE Co.,Ltd. All rights reserved.

2. 確認画面が表示されるので、問題がなければ[確定]をクリックします。

AssetFinder

トップページ ログアウト

ログ管理 利用者管理 設定

グループ種別名設定

よろしければ「確定」ボタンを押してください

グループ1名称	拠点
グループ2名称	部門
グループ3名称	用途

戻る 確定

© ED-CONTRIVE Co.,Ltd. All rights reserved.

- 注**
- * グループ1は入力必須項目です。
- 意**
- * 各グループ名称は40文字以内で設定してください。

3-20. 管理者情報の変更

AssetFinder へログインする際の管理者 ID およびパスワードを変更できます。

1. [設定]→[管理者情報変更]をクリックします。
2. 新しく設定する管理者 ID、パスワードを入力し[入力確認]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'AssetFinder' web interface. At the top, there is a dark blue header with the 'AssetFinder' logo on the left and 'トップページ' and 'ログアウト' buttons on the right. Below the header is a navigation bar with three tabs: 'ログ管理', '利用者管理', and '設定'. The '設定' tab is selected. The main content area is titled '管理者情報変更'. Below the title, there is a note: '変更する場合は、フォームの内容を書き換えた後、「入力確認」ボタンを押してください'. The form consists of three rows of input fields. The first row is for '管理者ログインID [必須]' with a note: '※半角英数字1～8文字、使用可能記号 (ハイフン)、(アンダーバー)'. The second row is for '管理者パスワード [必須]' with a note: '※半角英数字4～16文字、使用可能記号 (ハイフン)、(アンダーバー)'. The third row is for '管理者パスワード(確認) [必須]' with a note: '※半角英数字4～16文字、使用可能記号 (ハイフン)、(アンダーバー)'. Below the input fields is an '入力確認' button. At the bottom of the page, there is a copyright notice: '© ED-CONTRIVE Co.,Ltd. All rights reserved.'

3. 確認画面が表示されるので、問題がなければ[確定]をクリックします。
4. 設定完了後、新しく設定した管理者 ID/パスワードで再ログインを行ってください。

4. データのバックアップ / リストア

4-1. データバックアップ

バックアップ設定を行うことにより、自動で指定した場所へデータベースのバックアップを保存することができます。

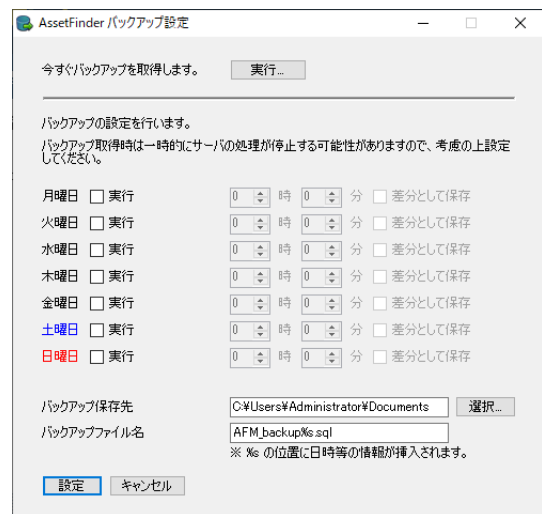
注意

- * データベースをインストールした PC 上での操作となります。
- * 作成されたバックアップファイルはローテーションされませんので、必要に応じてバックアップファイルの削除、別媒体への移動を行ってください。

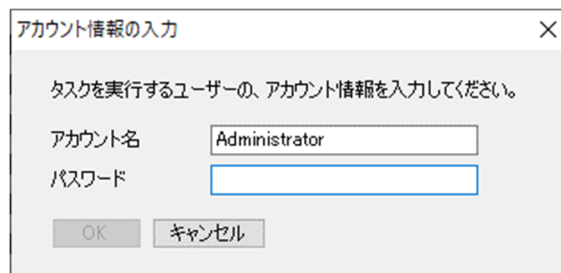
1. [スタート]→[ED-CONTRIVE]→[バックアップ設定ツール]を右クリックし、[その他]→[管理者として実行]をクリックします。

2. バックアップを行う曜日の「実行」をチェックし、バックアップ開始時間を指定します。
「差分として保存」をチェックすると、前回のバックアップからの差分を取得します。

3. バックアップ保存先、バックアップファイル名を指定し [設定]をクリックします。



4. タスク実行時のアカウント情報を入力し、[OK]をクリックします。



バックアップを直ちに取得する場合

1. 「今すぐバックアップを取得します。」の[実行]ボタンをクリックします。

2. バックアップ保存先、ファイル名を指定し[保存]をクリックします。

4-2. データリストア

バックアップにて取得したバックアップファイルは、以下の手順でリストアすることができます。

注意

- * 事前に AssetFinder をインストールしている必要があります。
- * データベースをインストールした PC にて作業を行ってください。
- * リストアを行うと、AssetFinder インストール時に設定した企業 ID、管理者 ID/パスワードや、グループ種別名、利用者情報、利用者ログ、社内コンピュータ情報、SV ライセンス情報が上書きされます。
- * 本手順を使用して AssetFinder 1.x.x と 2.x.x.x 間でのリストアは行えません。

1. 以下のバックアップデータをデータベースをインストールしたサーバ上に準備します。

- 1) 最新のフルバックアップデータ ※1
- 2) 1)以降に作成された差分バックアップデータ ※2

※1 フルバックアップデータのファイル名は以下のようになります。

AFM_backup_all_YYYYMMDDhhmm.sql

※2 差分バックアップデータのファイル名は以下のようになります。

AFM_backup_client_YYYYMMDDhhmm.sql

AFM_backup_company_YYYYMMDDhhmm.sql

AFM_backup_company_login_log_YYYYMMDDhhmm.sql

AFM_backup_log_tbl_YYYYMMDDhhmm.sql

AFM_backup_computer_YYYYMMDDhhmm.sql

2. コマンドプロンプトを起動します。

3. 以下のコマンドを実行し、フルバックアップファイルをリストアします。

```
C:¥>C:¥AFM¥mysql¥bin¥mysql.exe -u root -p --default-character-set=utf8 AFM_db < フルバックアップデータファイルパス(フルパス) ↓  
Enter password: DB 管理者パスワード ↓
```

※赤字部分はお客様環境によって異なります。

4. 以下のコマンドを実行し、差分バックアップファイルをリストアします。

```
C:¥>C:¥AFM¥mysql¥bin¥mysql.exe -u root -p --default-character-set=utf8 AFM_db < 差分バックアップデータファイルパス(フルパス) ↓  
Enter password: DB 管理者パスワード ↓
```

※赤字部分はお客様環境によって異なります。

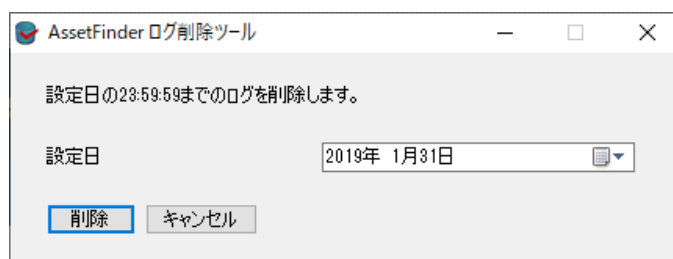
5. AssetFinder へログインし、正常にリストアされていることを確認します。

5. 利用者ログの削除

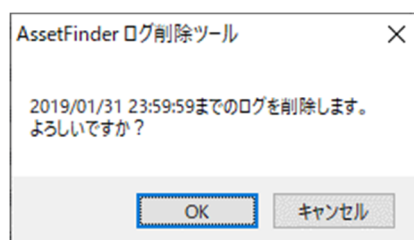
AssetFinder に保存されている利用者ログを削除することができます。

- 注** * データベースをインストールした PC 上での操作となります。
- 意** * 設定日の 23 時 59 分 59 秒までのログが削除されます。

1. [スタート]→[ED-CONTRIVE]→[ログ削除ツール] を右クリックし、[その他]→[管理者として実行] をクリックします。
2. 設定日を指定し[削除]をクリックします。



3. 確認メッセージが表示されるので、問題がなければ[OK]をクリックします。



- メモ** * 利用者ログが膨大になると、利用者ログの表示や検索等のパフォーマンスが低下する場合があります。不要な利用者ログは定期的に削除することを推奨します。

6. Traveny 3 の初期化

AssetFinder を使用した運用を行う場合、Traveny 3 初期化ツールを実行する際には初期化ツールの種類に注意が必要です。

初期化ツールの種類

<通常初期化ツール>

ポリシーと Traveny 3 内に保存したデータは削除されますが、AssetFinder の初期登録情報は保持されます。AssetFinder 上の利用者情報に変更なく使用する場合は通常初期化を行います。デフォルトのファイル名は InitTool.exe です。

<完全初期化ツール>

資産管理機能に関する全ての情報が削除されます。初期化後は AssetFinder への利用者登録と、利用者での Traveny 3 の初期登録を行う必要があります。また Traveny 3 内に格納された AssetFinder 未送信のログも削除されます。利用者の変更など、AssetFinder の利用者情報の再登録が必要な場合は完全初期化を行います。デフォルトのファイル名は FullInitTool.exe です。

<簡易初期化ツール>

ポリシーのみ削除されます。Traveny 3 内に保存したデータおよび AssetFinder の初期登録情報は保持されます。AssetFinder 上の利用者情報に変更なく使用する場合は通常初期化を行います。デフォルトのファイル名は SimpleInitTool.exe です。

注 意

* 初めて資産管理機能を有効にした場合は、必ず完全初期化を行ってください。完全初期化を行わない場合、管理情報の破損等正常に Traveny 3 が動作しない場合がございます。

誤って完全初期化を行った場合は、Traveny 3 の再登録が必要となります。AssetFinder 上で対象利用者を削除し、同じ個人識別情報および USB 個別 ID で利用者を登録します。その後 Traveny 3 を使用して初期登録を行ってください。

完全初期化前と情報が一致するため、同一利用者として管理することができます。

メ モ

* 誤って完全初期化を行わないよう、利用者へは通常初期化ツールまたは簡易初期化ツールを配布し、完全初期化ツールは必要に応じて配布することを推奨します。

7. ユーザサポート

製品に関するユーザサポート、よくあるご質問、ソフトウェアの修正版等は下記 Web ページにてご案内しております。

ユーザサポートページ

<http://www.safety-disclosure.jp/support/>

